

介護予防のフットケアを普及する民間団体  
「ほっとさぼーと」代表

## 折笠 無 さんが 切折



放置されがちな高齢者の足指やつめのトラブルが、転倒や閉じこもりにつながるという。初めて主催した講習会には約二百人が参加し、関心の高さをうかがわせた。

自身が初めて講習会に参加したときは「お年寄りの顔がすがすがしく、ケアする看護師さんも楽しそうだった。一見、誰でもできそう

でも毛細血管がもろくなつた糖尿病の人や、つめに水虫が入った人もいる。足一つ触るのも知識がないと怖いと思った」という。

「フットケアを通し、お年寄りが望んでいることを本音で聞きたい。将来は癒やしを柱に心のケアや、食事などを組み合わせたい一つの介護予防プログラムとして提供できれば」と夢を膨らます。

「五きょうだいの長男で大阪育ち。名前は「我無き」ところに我有る」から。こだわりの豆腐職人の父に名付けられた。

二十歳を機にバイトと海外旅行の日々から、父の仕事で縁のあった本県で社会人として新生活をスタート。「家業は継げなかったが、みんなの幸せを目指す点では今回立ち上げた事業と根っこは同じ」ときずなを信じる。

盛岡市出身の妻志津子さん(三〇)、長女(三三)、長男(二〇)の四人暮らし。「岩手は自然が身近でお金がなくても楽しめる」と自転車で八幡平から秋田を回ったことも。「子どもたちが大きくなったら、自分が出合った素晴らしい風景を見せてやりたい」とお父さんの顔になった。

95年本県に1ターン。食品会社を経て、清掃レンタル商品のフランチャイズ店営業。矢巾町広宮沢10の516の7。29歳。大阪府松原市生まれ。

(志田 澄子)

たかがつめ、されどつめ。技術のある人が活躍できる態勢をつくりたい。